

○計画期間：平成21年12月～平成27年3月（5年4月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成25年度終了時点（平成26年3月31日時点）の中心市街地の概況

平成25年6月28日に総合コンベンション施設「プラサ ヴェルデ」の一翼を担う展示イベント施設「キラメッセぬまづ」がオープンするなど、認定基本計画に記載した全73事業中、29事業が完了または終了、工事等実施中が6事業、ソフト事業など実施中が34事業、未着手が4事業となっている。

平成25年1月に西武沼津店が閉店し、市内から百貨店が姿を消すなど商業を中心として中心市街地を取り巻く環境は依然として厳しいが、キラメッセぬまづ開業の効果等により、効果指標のひとつである歩行者自転車通行量は増加傾向にある。一方、東日本大震災の影響により、海沿いの暮らしが敬遠される傾向にあり、海からの距離が近い本市の中心市街地においては地価の下落とともに居住人口の減少も続いている状態である。

平成26年には会議場施設・ホテルも開業して「プラサ ヴェルデ」が本格稼動し、沼津商工会議所の新会館もオープンするなど、認定基本計画に記載した事業の進捗による波及効果が期待される。

2. 平成25年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

平成25年6月にキラメッセぬまづの開館など、計画に位置付けられた事業が進捗したことにより、「交流人口の増加」については、数値目標達成の見込みであり、一定の成果が得られているものと評価したい。

一方、「定住人口の確保」については、目標達成が困難であり、今後の対策を具体的に明確化されたい。

沼津駅付近鉄道高架事業の未着手がまちの活力低下を招いている。引き続き早期着工と事業推進に努力されたい。

数値目標の達成状況については、示された数値から来街者・居住者の動態を分析し、施策に反映されたい。

今後も、行政と共に中心市街地活性化に向けて努力していきたいと考えている。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
交流人口の拡大	中心市街地の歩行者自転車通行量(日曜日)	75,112 人 (H21)	76,700 人 (H26)	91,206 人 (H25)	①	①
定住人口の確保	中心市街地の居住人口	22,357 人 (H21)	23,850 人 (H27)	22,389 人 (H26)	②	④

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ① 取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ② 取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③ 取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④ 取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

・ 交流人口の拡大

中心市街地の歩行者通行量は、平成 23 年まで減少傾向にあったが、平成 24 年以降増加に転じている。中心市街地におけるにぎわい創出の取組や、静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業の完了、キラメッセぬまづの開業などが歩行者通行量の増加に寄与したものと考えられる。今後、プラサ ヴェルデの本格稼働や沼津商工会議所新会館の供用開始などが予定されており、目標指標の達成は可能であると見込まれる。

・ 定住人口の確保

中心市街地の人口は微減の傾向にある。静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業、民間のマンション建設を始めとした計画に記載された取組は概ね順調に進捗しているが、一部事業に進捗の遅れが見られることや、東日本大震災以降マンションの新規着工がないこと、百貨店の閉店などから、現状では目標達成が困難であると見込まれ、今後対策を講じる必要がある。

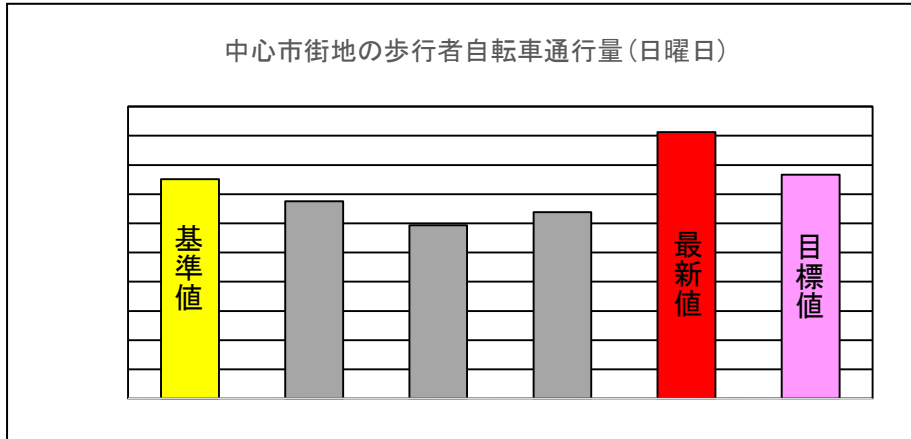
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

定住人口の増加について、目標達成のために必要な事業である沼津駅南第一地区土地区画整理事業が、仮換地の調整に時間を要したことや、建物移転・宅地造成に際し、仮移転回避を優先したことなどにより、完了時期を平成 24 年度から平成 31 年度に延伸した。このため、事業進捗に支障が生じ、計画期間内での目標達成は困難な見込みとなったことから、目標達成の見通しを変更することとなった。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「中心市街地の歩行者自転車通行量(日曜日)」 ※目標設定の考え方基本計画 P50～P56 参照

●調査結果の推移



年	(単位：人)
H21	75,112 (基準年値)
H22	67,521
H23	59,304
H24	63,887
H25	91,206
H26	76,700 (目標値)

※調査方法：歩行者通行量調査（毎年原則として7月第2日曜日）実施

※調査月：7月調査・取りまとめ

※調査主体：沼津市

※調査対象：中心市街地内12地点を9時～19時に通行する歩行者・自転車の数を計測

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

i：にぎわい拠点の創出と連携による回遊の増加

- ① 沼津駅北拠点地区暮らし・にぎわい再生事業（展示イベント施設、市民交流施設、駐車施設）（沼津市）

事業完了時期	【済】平成24年度
事業概要	沼津駅北口の旧国鉄施設跡地を活用して、展示イベント施設、市民交流施設等を整備し、魅力とにぎわいのある広域的都市拠点を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成24年度末に施設が完成し、平成25年6月に展示イベント施設「キラメッセぬまづ」として供用開始した。開業から平成25年度末までの利用者は約32万人に上り、にぎわいの創出と来街者・歩行者通行量の増加に寄与している。

- ② 東部コンベンションセンター整備事業（会議場施設、ホテル）（静岡県・大和ハウス工業株式会社）

事業完了時期	【済】平成25年度
事業概要	沼津駅北口の旧国鉄施設跡地を活用して、国際的な会議にも対応できる会議場施設やホテル等を整備し、魅力とにぎわいのある広域的都市拠点を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成25年度末に施設が完成した。平成26年4月にホテルが開業し、7月には会議場施設も供用開始の予定である。先行オープンしたキラメッセぬまづと併せて総合コンベンション施設「プラサ ヴェルデ」を形成することで、来街者・歩行者通行量の増加が期待される。

ii : 沼津港との連携

③ えき～みなとぶらりまち歩き事業（沼津市）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	沼津駅と沼津港の間に、観光イベント情報や一時休息ができるスペース「まちかどすぽっと」を提供。また、自転車タクシーや人力車の運行により回遊性の向上を図る。
事業効果及び進捗状況	沼津駅～沼津港間2.2kmのまちあるきに楽しみを与えることにより、港のにぎわいをまちなかへ波及させている。

④ 我入道の渡し船管理運営事業（沼津市）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	千本浜から志下海岸までの水辺を歩く文学探訪の道「潮の音プロムナード」のコースに彩りを添える重要な観光資源としての役割とともに、沼津港と中心市街地に回遊性を創出するため、渡し船を運航する。
事業効果及び進捗状況	平成 25 年度の利用者数は約 2,600 人であり、中心市街地を流れる狩野川を活用した独自の観光スポットとして、中心市街地の魅力発信や、沼津港との連携によるにぎわいの創出に寄与している。

⑤ 沼津駅沼津港間連携事業（沼津市、沼津港交通対策実行委員会）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	沼津駅と沼津港を結ぶ無料シャトルバスの運行。
事業効果及び進捗状況	沼津駅～沼津港間の動線の強化により、沼津港のにぎわいを中心市街地に波及させている。平成 25 年度は 67 日運行し、約 18,000 人の利用があった。

⑥ 高速バスの運行（各バス会社）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	沼津駅（一部路線は沼津港への乗り入れあり）と東京方面、関西方面を結ぶ高速バスの運行。
事業効果及び進捗状況	多様な交通手段を確保することで、中心市街地への来街者数の増加が期待される。

iii : 居住人口の増加による効果

⑦ 中央公園整備事業（沼津市）

事業完了時期	【未】平成 28 年度
事業概要	セントラルパーク構想において、憩いやにぎわいの場として位置づけられる中央公園を、健康づくりや憩いの場、まち歩きの起点として多くの方々が利用できるよう整備する。
事業効果及び進捗状況	公園整備により狩野川の水辺空間と一体的な利用が促進され、来街者

進捗状況	の増加やまちの回遊性向上が見込まれるが、利用者協議等整備内容の調整に時間を要し、事業に遅れが生じているため、早期に整備計画を取りまとめる必要がある。
------	--

⑧ 三園橋アンダーパス整備（沼津市）

事業完了時期	【済】平成 25 年度
事業概要	狩野川左岸経路の三園橋にアンダーパスを設置する
事業効果及び進捗状況	平成 25 年 5 月にアンダーパスが開通した。歩行者や自転車通行の安全が確保されるとともに、狩野川左岸経路の連続的な活用が可能となり、まちの回遊性向上や歩行者通行量の増加が見込まれる。

⑨ 狩野川右岸修景事業（沼津市）

事業完了時期	【未】平成 26 年度
事業概要	狩野川河川敷、護岸部などの河川空間の整備
事業効果及び進捗状況	貴重な市街地の水辺空間の親水性が高まり、中央公園と一体的な活用の促進により、来街者の増加や回遊性の向上が期待される。

⑩ 町方町・大門町・通横町地区第一種市街地再開発事業（町方町・大門町・通横町地区第一種市街地再開発組合）

事業完了時期	【未】平成 29 年度
事業概要	老朽化した既存商店街を市街地再開発事業により再生し、居住・商業・コミュニティなどの都市的な生活関連サービス機能で複合的に構成された上質な空間を創造する。
事業効果及び進捗状況	再開発事業の施行によりまちの商業核の創出、良質な住宅の供給が図られ、交流人口・定住人口の増加に寄与する。現在、早期の都市計画決定に向けた取組を進めている。

⑪ 沼津駅南第一地区土地区画整理事業（沼津市）

事業完了時期	【未】平成 31 年度
事業概要	鉄道高架事業に併せ、駅南地区の土地区画整理事業を実施し、面的かつ一体的な整備を行うことで、静岡東部地域における広域的な中核拠点の形成、中心市街地の活性化を図る。A=3.3ha
事業効果及び進捗状況	平成 25 年度末の進捗率は 60.2%。 良好な宅地の形成による定住人口の増加やコミュニティ道路の整備による回遊性の向上が期待される。 仮換地案の調整や鉄道施設の移転協議、建物移転の調整に時間を要し、事業期間を延伸したため、進捗に支障が生じている。今後、事業費の確保と計画的な宅地造成に努め、早期の事業効果の発現を目指す。

⑫ 沼津駅南第二地区土地区画整理事業（沼津市）

事業完了時期	【未】平成 29 年度
事業概要	鉄道高架事業に併せ、駅南地区の土地区画整理事業を実施し、面的かつ一体的な整備を行うことで、静岡東部地域における広域的な中核拠点の形成、中心市街地の活性化を図る。A=12.1ha
事業効果及び進捗状況	現在未着手であり、鉄道高架事業の進捗を見据えながら事業着手の時期を検討している。

⑬ 静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業（独立行政法人都市再生機構）

事業完了時期	【済】平成 24 年度
事業概要	鉄道高架事業に併せ、駅北地区の土地区画整理事業を実施し、面的かつ一体的な整備を行うことで、静岡東部地域における広域的な中核拠点の形成、中心市街地の活性化を図る。A=12.1ha
事業効果及び進捗状況	宅地及び公共施設の整備、換地における建物更新による定住人口の増加や歩行者通行量の増加が期待される。平成 24 年に換地処分を公告し、事業が完了した（清算業務を除く）。

⑭ 静岡東部拠点第二地区土地区画整理事業（沼津市）

事業完了時期	【未】平成 29 年度
事業概要	鉄道高架事業に併せ、拠点エリアと新車両基地エリアの土地区画整理事業を実施し、面的かつ一体的な整備と土地利用の整序化による静岡東部地域における広域的な中核拠点の形成、中心市街地の活性化を図る事業。A=18.5ha(うち、拠点エリア 12.5ha)
事業効果及び進捗状況	平成 25 年度末の進捗状況は 10.2%。今後、鉄道高架事業の進捗を見据えながら、拠点エリアの鉄道施設を移転し、宅地造成・公共施設整備に着手する。良好な宅地の造成や拠点街区における高次都市機能の導入により、定住人口・交流人口の増加に寄与する。

iv : まちの魅力向上

⑮ 中心市街地活性化出店促進事業（沼津市）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	中心市街地において3ヶ月以上空店舗となっている路面店への出店に対し、改装費等の一部を補助する。
事業効果及び進捗状況	意欲ある事業者を支援し、空店舗を解消することで商業の活性化・まちの魅力向上に寄与している。平成 25 年度末までの利用者数は 20 件。

⑩ 空店舗対策事業（沼津商工会議所）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	定期的に商店街を巡回し、空店舗の状況を調査することで、空店舗情報を一元的に集約管理する。
事業効果及び進捗状況	空店舗の状況やまちの現状を把握することで、出店希望者への情報提供などが効果的に行われている。

⑪ テナントミックス運営事業（沼津仲見世商店街振興組合）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	空店舗を活用し、商店街によるテナントミックスを実施する。
事業効果及び進捗状況	平成 25 年度までに 3 件のテナントを誘致し、商店街の活力向上や歩行者通行量の増加に寄与している。今後も商店街と消費者のニーズに合致したテナントの誘致を検討していく。

⑫ 緑化推進（あげつちおかみさん会、アーケード名店街、まちの情報館、花華の会ほか）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	商店街の各緑化推進団体等が、花壇の植え替えや維持管理を実施し、花と緑があふれる中心市街地づくりを進める。
事業効果及び進捗状況	地域ごとに工夫を凝らした緑化の推進により、まちにやすらぎとうるおいが生まれている。

⑬ 中央公園にぎわい創出事業（numazoo 実行委員会）

事業完了時期	【済】平成 25 年度
事業概要	若手市民有志による、手づくりイベントの実施。毎月第 4 土曜日に中央公園において、音楽ライブやワークショップ等を行なった。
事業効果及び進捗状況	定期的なイベントによるにぎわいの創出に加え、ワークショップや情報発信を通してまちの魅力が再認識された。また、実行委員会の理念や活動が多くのフォロワーを生み、多様な取組が展開されている。

⑭ 四季彩まちづくり推進事業（沼津市中心市街地活性化協議会）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	商店街等が連携して展開する、花いっぱいのもちづくり運動や七夕飾り、イルミネーションなど季節ごとのイベントを支援する。
事業効果及び進捗状況	季節を感じるイベントの実施によりまちのにぎわいづくり、話題づくりに貢献するとともに、美しいまちなみの創出につながっている。

21 アーケード名店街ついたち市（アーケード名店街）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	商店街の歩道において、毎月 1 日に朝市を開催。地域住民の手づくり

	の品や新鮮な魚介類、出店がならぶ。
事業効果及び進捗状況	普段と違う商品が購入できることもあり、毎月大きなにぎわいを見せ、商店街への集客に結びついている。

22 あげつち稲荷市（あげつちおかみさん会）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	商店街の歩道において、毎月 15 日に定期市を開催。地元のおかみさん会が集めた全国各地の特産品や地場産品などが並ぶ。
事業効果及び進捗状況	毎月の市のにぎわいという直接効果もさることながら、普段店舗の中におかみさんが販売を担当しているため、訪れる買い物客とコミュニケーションが生まれ、商店街への集客に結びついている。

23 沼津夏まつり（沼津夏まつり実行委員会）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	中心市街地で歩行者天国イベントやみこし等を実施し、中央公園では子供イベントなどを開催している。また、狩野川と四大橋、夏の夜空が競演する沼津ならではの花火大会を実施し、沼津の観光振興を図るとともに、地域経済の活性化を促進する。
事業効果及び進捗状況	沼津の夏の風物詩として市民に愛され続けている。また、市内外から多くの来街者が訪れ中心市街地のにぎわいが創出されている。平成 25 年度は約 30 万人の人出があった。

24 よさこい東海道開催事業（よさこい沼津まつり実行委員会）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	毎年 11 月に商店街と狩野川を主会場としたよさこい祭りを開催。全国各地から踊り子が集まり、華やかな衣装と華麗な舞で多くの観客を魅了している。
事業効果及び進捗状況	沼津市内外から多くの来場者を集め、まちの活性化につながっている。また、事業の運営には商業者が主体的に携わっており、まちの一体感が生まれている。平成 25 年度の踊り子数は約 3000 人、観客数は約 10 万人。

25 ぬまづサマーガーデン（ぬまづサマーガーデン実行委員会）

事業完了時期	【済】平成 24 年度
事業概要	狩野川の階段堤で多彩なゲストを招いてビアガーデンとウォーターフロントコンサートを開催することにより、中心市街地のにぎわいを創出した。
事業効果及び進捗状況	沼津の夏の夜を熱く彩るイベントとして、市内のみならず市外からも多くの来場者を集め、沼津の観光振興、地域経済の活性化に寄与した。

26 【追加】 まちあるきステーション運営事業（沼津市、株SBSプロモーション）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	中央公園内に、ランニングやウォーキングなどの健康づくりの活動拠点機能とまちの情報発信機能を備えた施設を開設、運営するとともに、各種イベントを開催する。
事業効果及び進捗状況	中心市街地に新たな機能が導入されたことにより、新たな来街者層の獲得に寄与するとともに、中央公園と狩野川界隈の活動拠点としても機能している。平成25年度は約11,000人の利用があった。

27 【追加】 ものづくり体験館運営事業（沼津市、株SBSプロモーション）

事業完了時期	【済】平成24年度
事業概要	商店街の空店舗を活用し、各種のものづくり技能を常時、見て、触れて学ぶことのできる施設を開設。常設展示のほか、週末を中心に各種ものづくりイベントを開催した。
事業効果及び進捗状況	小中学生や親子を対象にものづくり体験教室を開催しているため、これまでにない来街者をまちなかへ呼んだほか、施設を拠点とした新たなコミュニティの形成が見られた。

28 【追加】 狩野川にぎわい創出事業（沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	狩野川河川空間の利用調整と利用促進を図る協議会の運営を通じて河川空間に市民の憩いの場、にぎわいの場を創出する。
事業効果及び進捗状況	オープンカフェや水辺のステージ、マルシェの開催等により新たなにぎわい空間が創出された。平成26年2月に狩野川右岸階段堤等が「都市・地域再生等利用区域」に指定された。

29 【追加】 まちなかアウトドア発信事業（沼津市、シーツーデイ）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	上土商店街の空店舗を活用し、沼津の魅力を満喫できるライフスタイルの情報発信や、海・山・川に囲まれた沼津の中心市街地のロケーションを活かしたアクティビティを提供する施設を運営する。
事業効果及び進捗状況	まちなかとアウトドアというこれまでとは違った視点で本市の中心市街地の魅力を顕在化させ、新たな来街者層の獲得に寄与した。

30 【追加】 沼津自慢フェスタ開催事業（沼津市）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	中央公園を会場に、沼津が誇る物産、食文化、音楽等の魅力を市内外に広くPRするため、ビアガーデンや音楽ステージなど食べて、飲んで

	で、楽しめるイベントを開催。
事業効果及び進捗状況	平成 25 年度は市内外から約 9,000 人の来場者があり、まちのにぎわい創出に貢献した。また、沼津の物産やまちの魅力を発信し、来街者の増加に寄与した。

31 【追加】コミュニティカフェ運営事業（株）L S C 沼津みなみ

事業完了時期	【実施中】
事業概要	商店街の空店舗を活用してカフェを開設し、地域コミュニティ創出の拠点とするとともに、店内に来客が自由に使えるタブレット端末を設置し、端末操作やSNS活用講座等を開催。
事業効果及び進捗状況	頻繁にワークショップを開催することで地域コミュニティの新たな拠点として機能し、来街者の増加に寄与している。

32 【追加】沼津ナイトマーケット（沼津ナイトマーケット実行委員会）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	夜間の商店街の道路上で、食や音楽を提供する夜市を開催する。
事業効果及び進捗状況	平成 25 年度は 3 回の開催で約 1,100 人が来場し、商店街界隈の飲食店のテイクアウトメニューを路上に設置したテーブルで楽しむという仕掛けが好評を博した。

33 【追加】沼津アート名店街事業（アーケード名店街）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	地域の芸術家が商店街の店舗のショーウィンドーや路上のポールにオリジナル作品を展示するイベントを開催。
事業効果及び進捗状況	芸術家の創作・発表の場を創出するとともにまちと芸術の関わりを深めるきっかけとなっている。アートに着目したこれまでにないイベントであり、新たな来街者層の創出に貢献している。

34 【追加】沼津バル「呑み歩いていいとも！」（いいとも！実行委員会）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	中心市街地の飲食店をはしごするバルイベントの開催や、呑み歩きパスポートの発行を通じてまちの魅力をPRする。
事業効果及び進捗状況	平成 25 年はバルイベントに約 1000 人が参加したほか、期間を通じて利用できる呑み歩きパスポートを 5 万部発行し、まちのにぎわいの創出、回遊性の向上に寄与した。

35 【追加】沼津まちづくりゼミナール（沼津商工会議所）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	商店街の店舗において、店員が講師となる無料の講座を開催。

事業効果及び
進捗状況

講座の開催により自店の魅力をPRし、個店のファンを増やすことで来街の動機を創出し、商店街の活性化や歩行者通行量の増加に寄与している。

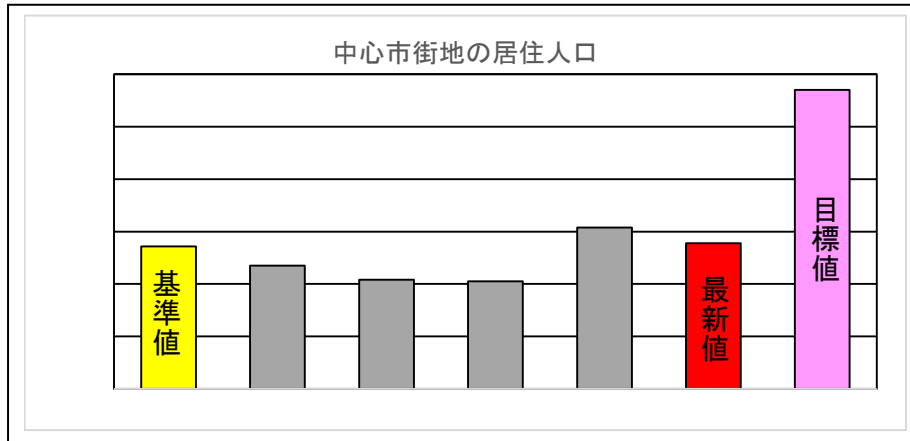
●目標達成の見通し及び今後の対策

長年減少傾向が続いていた中心市街地の歩行者通行量は、平成 24 年度に増加に転じ、平成 25 年度には目標値を上回った。中央公園・狩野川界限のにぎわい創出の取組や、静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業の完了、キラメッセぬまづの開館などの効果が発現したものと考えられる。

上記の取組に加え、平成 26 年度にはプラサ ヴェルデの全面オープンや沼津商工会議所新会館の供用開始も予定されており、目標指標の達成は可能であると見込まれる。

「中心市街地の居住人口」 ※目標設定の考え方基本計画 P62～P66 参照

●調査結果の推移



年	(単位：人)
H21	22,357 (基準年値)
H22	22,174
H23	22,042
H24	22,024
H25	22,537
H26	22,389
H27	23,850 (目標値)

※調査方法：中心市街地区域での住民基本台帳登録人口

※調査月：平成24年3月末時点調査、4月取りまとめ

※調査主体：沼津市

※調査対象：中心市街地内居住者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

i：都心型住宅の供給

① 魚町共同住宅等建設事業（東レ建設(株)）

事業完了時期	【済】平成22年度
事業概要	地上15階建、総個数80戸の分譲住宅、店舗2区画、事務所3区画の建設。
事業効果及び進捗状況	魚町の人口が平成21年度（基準年度）から153人増加した。

② 高島町共同住宅等建設事業（大和ハウス工業(株)静岡支店）

事業完了時期	【済】平成21年度
事業概要	地上13階建、総個数46戸の分譲住宅の建設。
事業効果及び進捗状況	高島町の人口が平成21年度から153人増加した。

③ 高沢町共同住宅等建設事業（フジ都市開発(株)）

事業完了時期	【済】平成21年度
事業概要	地上11階建、総個数30戸の分譲住宅の建設。
事業効果及び進捗状況	高沢町の人口が平成21年度から40人増加した。

④ 浅間町共同住宅等建設事業（静岡鉄道(株)）

事業完了時期	【済】平成22年度
事業概要	地上13階建、総個数95戸の分譲住宅の建設。

事業効果及び進捗状況	浅間町の人口が平成 21 年度から 206 人増加した。
------------	------------------------------

⑤ 【追加】米山町共同住宅等建設事業（ヨシコン株）

事業完了時期	【済】平成 23 年度
事業概要	地上 6 階建、総個数 37 戸の分譲住宅の建設。
事業効果及び進捗状況	米山町の人口が平成 21 年度から 27 人増加した。

⑥ 【追加】大手町二丁目共同住宅等建設事業（大和ハウス工業株）

事業完了時期	【済】平成 23 年度
事業概要	地上 14 階建、総個数 39 戸の分譲住宅の建設。
事業効果及び進捗状況	大手町二丁目の人口が平成 21 年度から 118 人増加した。

ii : 土地区画整理事業による土地利用の高度化

⑦ 沼津駅南第一地区土地区画整理事業（沼津市）【再掲】P5 参照

⑧ 静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業（(独)都市再生機構）【再掲】P6 参照

iii : 居住環境のアピール

⑨ 沼津駅周辺人にやさしいまちづくり推進事業（沼津市）

事業完了時期	【済】
事業概要	歩道拡幅、段差解消、平坦性の確保・誘導ブロックの設置、改良等、沼津駅周辺の交通環境のバリアフリー化を推進した。
事業効果及び進捗状況	中心市街地の利便性・安全性の向上により、歩行環境の改善、居住環境の向上に寄与する。

⑩ 自転車通行環境整備モデル地区事業（静岡県、沼津市）

事業完了時期	【済】平成 21 年度
事業概要	自転車と歩行者の分離された走行空間の整備。 自転車道 L=約 150m、自転車歩行車道 L=約 530m
事業効果及び進捗状況	自転車道等の自転車と歩行者の分離された空間を整備して交通弱者の安全確保を図り、歩行環境の改善、居住環境の向上に寄与する。

⑪ 沼津っ子ふれあいセンター運営事業（沼津市）

事業完了時期	【実施中】
事業概要	沼津駅前乳幼児やその親たちが自由につどう場や、乳幼児の一時預かりや一時保育、育児相談などに加え、仕事と育児の両立を支援するファミリーサポートセンター機能を備えた施設を運営する。

事業効果及び
進捗状況

平成 25 年度は約 18,000 人の利用があり、子育て世代の中心市街地
への来街を促進した。

- ⑫ 緑化推進（あげつちおかみさん会、アーケード名店街、まちの情報館、花華の会ほか）
【再掲】 P7 参照
- ⑬ 四季彩まちづくり推進事業（沼津市中心市街地活性化協議会）【再掲】 P7 参照
- ⑭ 沼津駅北拠点地区暮らし・にぎわい再生事業（展示イベント施設、市民交流施設、駐
車施設）（沼津市）【再掲】 P3 参照
- ⑮ 東部コンベンションセンター整備事業（会議場施設、ホテル）（静岡県・大和ハウス工
業株式会社）【再掲】 P3 参照
- ⑯ 沼津夏まつり（沼津夏まつり実行委員会）【再掲】 P8 参照
- ⑰ よさこい東海道開催事業（よさこい沼津まつり実行委員会）【再掲】 P8 参照
- ⑱ まちあるきステーション運営事業（沼津市、株 S B S プロモーション）【再掲】 P9 参
照
- ⑲ 狩野川にぎわい創出事業（沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会）【再掲】 P9
参照
- ⑳ まちなかアウトドア発信事業（沼津市、シーツデー）【再掲】 P9 参照
- 21 沼津自慢フェスタ開催事業（沼津自慢フェスタ実行委員会）【再掲】 P9 参照

●目標達成の見通し及び今後の対策

目標達成のために必要な事業である静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業が平成 24 年度
に完了し、事業区域とその周辺では平成 21 年度から 103 人の人口増加が見られた。

しかしながら、基本計画において 200 人の人口増を見込んでいる沼津駅南第一地区土地区画
整理事業は、仮換地の調整に時間を要したことや、宅地造成に際し、極力仮移転を伴わない手
順で建物移転を行っていることから進捗が遅れが生じている。

また、基本計画では、年間 80 戸程度の都心型住宅の供給を見込んでいたが、東日本大震災以
降マンションの新規着工がない状況が続いている。これは、震災により海沿いの暮らしを敬遠
する傾向や、マンション適地の不足、鉄道高架事業の進捗の遅れにより民間投資が進まないこ
となどが原因と考えられる。

このように、計画期間内での目標達成は困難であると見込まれるため、居住促進調査を実施
するなどの対策を講じているが、効果の発現には至っておらず、更なる対策が必要である。

今後、沼津駅周辺土地区画整理事業の一層の進捗を図るとともに、町方町・大門町・通横町
地区第一種市街地再開発事業をはじめとした老朽化した建築物を更新し、安心・安全なまちを
形成する取組を推進する必要がある。短期的には、空店舗対策や中央公園・狩野川周辺のまち
づくり等を通じて、まちの魅力を高め、本市の中心市街地が質の高い暮らしが実現できる空間
であることのアピールを継続する。

